

民間企業での経験を発注者の立場で生かしたい。

## 農政課 山口篤（土木技術 平成22年度採用）

### 小田原市役所を志望したきっかけ

私は、お城や城下町などのような史跡や歴史に興味があり、神奈川県内でも唯一お城があり歴史を感じさせてくれる小田原の町で働きたいと思いました。

小田原市役所に入庁する以前は、民間企業で土木系の公共工事に携わる仕事を約10年間行っていました。公共工事の現場では、多くの協力業者の方々や発注者等と打合せを行いながらの施工が多く、現場の安全性と構造物の健全性を配慮した提案型の施工が求められており、受注者側での経験を発注者の立場で生かしたいと考えました。

また、市役所の仕事は、さまざまな人々と会話することが非常に多いため、今までの職務経験を土台に、自分の興味のある史跡や歴史の残るこの小田原の地で、発展的なまちづくりの提案と実現をしていきたいと思いました。



### 現在の仕事内容

市内全域の農用地周辺における道水路等の維持修繕および新規整備工事の設計から施工管理・監督を行っています。

維持修繕業務は、地元自治会等から危険箇所の対策要望などをいただき、現地確認から修繕方法の検討、施工管理・監督までを行います。新規整備工事は、地元地権者との交渉から最適な施工方法の検討、施工管理・監督までを行っています。

農政課は、通常の技術系の職場と異なり、技術系職員は4割程度の職場です。そのため、市内のイベントにも参加することもあり、技術職員としてのスキルアップ以外にもさまざまな経験ができる部署でもあります。

### 仕事のやりがい

市民の方からのお礼の言葉やねぎらいの言葉が何事にも変えられない充実感でありやりがいだと思います。

また、現在の仕事は市民の方から協力業者の担当者、自分の上司など人と対話することが重要です。自分の父親ほどの年齢の方と打合せ・調整することも多々あり、実務経験以外に大切な人生経験について、自分の未熟さを痛感させられ、日々勉強させていただいています。

どんな仕事でも何かを成し遂げるといことは、やり遂げたあとの達成感や充実感というものが伴うものだと思います。1つの案件に対し自分が中心となり、業務を遂行していくことの責任の重さや、それを一から計画し完成させた時の達成感は何事にも変えがたいものがあります。

### 受験生の皆さんへのメッセージ

市役所の仕事は、「会話」が基本だと思います。買い物客一人一人と会話をする町の商店街の一軒と同じであり、よく会話し、よい商品を扱えば「ありがとう」と感謝の言葉をいただき、そうでない時にはお客様からご指導をいただくこともあります。それだけ市民生活に密着した仕事であると感じています。

また、どんな仕事でもいざやってみると自分が思っていた内容と違うことがあると思いますが、臆病にならず「自分のビジョンを持ち・自分は何をしたいのか？」ということを明確に就職活動をするとういと思います。

昨今の採用は人物重視採用が取り入れられている自治体が多いようです。面接時は飾らず「自分の言葉で回答する」ことが重要だと思います。

私の前職でよく使われていた言葉を紹介します。

「真剣だと知恵が出る・中途半端だと愚痴が出る・いいかげんだと言い訳ばかり」

何事にも真剣に取り組み、よい知恵を出し共に小田原市を盛り上げて行きましょう。

### 上司から一言

山口君は民間企業を経験し本市に奉職した職員で、日夜、農地整備事業に励んでいます。民間企業出身者であるという経験を活かし、幅広い視点で前例踏襲に陥ることなく業務を遂行しておりますので、頼もしく思っております。受験者の皆さんも山口君と一緒に「明日の小田原市のまちづくり」に参加してください。